

西部地区事務局

1 コロナ対策 アンケートより

① 教室経営

- 説明会の中止（市教委より連絡あり）
- ことばの教室の開級式やイベント（親子で大人数集まる親子体操など）の中止
- 多数が使用するプレイルームの使用を限定

② 研修会

- オンライン研修も視野に入れている。
- 毎日の健康観察を持参して研修会参加
- 距離を取って 換気を行なう。
- マスクの着用
- 市内通級担当者会議で、Zoom を使ったオンライン指導体験を行った。

③ 指導の工夫

多くの学校が実施していると回答があった内容

- 指導前に手洗い・アルコール消毒
- マスクの着用
- 換気をする。
- 子どもが触れる場所やおもちゃの消毒

それぞれの学校で実施していると回答があった内容

- アクリル板や透明なビニールの衝立を使用する。（市で買ってもらった。段ボールで作った他）
- 必要に応じて、担当者がフェイスシールド、ゴム手袋を使用
- 指導前後に手洗い 通級児・担当者・保護者
- うがい
- コロナ対策についてのお願いを、配布・掲示している。
- 検温をしてもらっている。
- 通級児や保護者の体調が悪いときは休むように伝えている。
- 健康観察記録の持参
- 指導内容は接触のないものをできるだけ使う。
- トランポリン、おもちゃ、絵本など使わないようにしている。

- 教材教具の共用をしない。
- 教材を可能な限り消毒する。
- 息のかかるようなもの（風車など）は、個人用にして持ち帰り
- 本の貸し出しをしていない。
- 保護者は教室に入らず、廊下で待っててもらおう。
- 子どもと面と向かって話さない。横になるようにする。
- ハイタッチは控えて、グータッチ、肘タッチ
- 机を離す。
- 指導時間を 45 分間から 35 分間にさせてもらい、10 分間で消毒する。また、通級児が重ならないようにする。
- 開級式の代わりに教室紹介の DVD を作って貸し出した。
- 新型コロナウイルスの第 2 波に備え、家庭でも通級指導が受けられるように、通級指導教室用ロイロノートアカウントの登録 25 人分を行った。

2 事務局より

※コロナ対策における各学校の実践例です。参考にしてみてください。

※今年度は多くの研修会が中止・延期になったり、子どもたちの指導ができなかったりしました。

その中で、オンラインなど新しいことを考えて実践しようとしている学校がありました。いろいろな方法を模索していく時代になってきました。

※定例研の発表者を決めるとき、推薦を中心にしていました。しかし、発表を頼まれる方も突然で困ったこともあったと思います。大卒の約束があると、発表者も心づもりができ、指導内容を見直す時間もあると思いました。